

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	学校教育教員養成課程
コース等名	教科教育コース家政教育撰修
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。</p>	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1．人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。 2．自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。 3．自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。 	
学校教育教員養成課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>子どもを愛し教育および教職に対する責務を深く自覚することを基礎として、児童・生徒の生活指導から教科指導に渡る幅広い能力を持った人材を養成する。また、教職を目指すものとして、自らの生き方について謙虚に反省できる人材を養成する。</p>	
学校教育教員養成課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1．教育の理念や教職の意義を理解し、広い視野から自己の将来のあり方を展望することができる。 2．児童・生徒の心身の発達段階や教育方法・技術の基礎を理解修得し、発達段階に応じた指導をすることができる。 3．道徳・特別活動・生徒指導に関する教育方法を修得し、児童・生徒の生活全般に渡る指導を行うことができる。 4．参観・参加実習、介護等体験実習、基本実習、委託実習および事前・事後指導の経験を通して教育現場における指導全般を実践的に理解・体得し、現場での適切な指導を行うことができる。 	
教科教育コース家政教育撰修の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>家族関係を中心として衣食住など家庭生活に関わる内容について、人文・社会・自然等の諸科学を基に総合的に把握し、自立と共生の価値観に基づいた生活者を育成する。と同時に、これらを学校現場で指導出来る家庭科教員を養成する。</p>	
教科教育コース家政教育撰修の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	

- 1．家族や家庭生活の重要性を理解し、生活に関する基本的な知識と技術を修得するとともに児童・生徒の人間性豊かな家庭生活の形成能力と態度を育てることができる。
- 2．家庭科の専門的内容（家庭経営、衣食住、保育、家庭科教育）を理解し、小・中・高等学校における教育実践に生かすことができる。
- 3．実習および実験の技術を修得し、安全に配慮した家庭科の指導を行うことができる。
- 4．生活問題を発見し、問題解決に向けて多様な手法を用いて考えをまとめる指導法に精通し、実践に応用することができる。
- 5．課題研究を通して、計画立案、実施、結果分析・評価および総合的・応用的能力を獲得し、論文および講演として明確に表現することができる。また、その能力を学校現場の指導に生かすことができる。